

令和 3 年 9 月 13 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 丸 義朗

(公 印 省 略)

輸血・細胞プロセッシング科教授候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、本学 輸血・細胞プロセッシング科の菅野仁教授が令和 4 年 3 月 31 日をもって定年退職となることから、後任の教授を選考することになりました。輸血・細胞プロセッシング業務に精通し、医療安全、チーム医療を実践できる方を公募致します。

貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜わりますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、輸血・細胞プロセッシングに対する造詣が深く、その女性医師の育成を中心とした医局のマネジメントに能力を発揮でき、同分野に特化した教育、研究、診療を推進できる方を教授として公募致します。特に医療安全を第一に適切な輸血・細胞プロセッシング業務を遂行するとともに、各診療分野と共同して臨床研究を積極的にすすめることを期待します。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。上記の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有すること
- (2) 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)の要件を満たすこと
- (3) 日本輸血細胞治療学会認定医の資格を有し、輸血・細胞プロセッシング科領域に関して深い造詣を備え、卓越した能力を有すること
- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的であること
- (5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できること

(6) 研究業績として、査読付自著論文(*)15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしAを1編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A: 英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B: 英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

(7) 医療安全実務について、申請時までに医療安全管理実務に関しAまたはBの要件を満たしていること。やむを得ない事情により、申請時までにAまたはBの要件を満たしていない場合には、採用後2年以内にAまたはBの要件を満たすこと。

なお、AまたはBの要件を一度満たせば、昇進時に再度求めるものではない。

(注) 1.上記A、Bを以下のように定義する。

A: 学内各医療施設の医療安全推進部門において半日もしくは1日単位で計24日分以上実務者として勤務する。

B: 学内各医療施設のセーフティマネージャーを1年以上務める。

2.採用において、前任地等でAまたはBと同等の経験をしたと認めた場合には、再度経験することを必要としない。

3.本学就任後2年以内にAまたはBの要件を満たす必要がある場合には、申請者は半年ごとに実施状況の進捗を文書で報告すること。

※本学のセーフティマネージャー研修を受けた者はセーフティマネージャー研修報告書を必ず提出すること。

2. 提出書類

詳細は「教授候補者の提出資料について(輸血・細胞プロセッシング科)」をご参照ください。様式1～7については、本学ホームページ(HOME > 新着採用情報)からダウンロードしてください。 <http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| (1) 履歴書(様式1) | 1部(補足資料もご提出ください) |
| (2) 業績目録(様式2) | 1部 |
| (3) 主要自著論文別刷 10編 | 各1部 |
| (4) 主要自著論文10編の説明(様式3) | 1部 |
| (5) 研究資金等の取得状況(様式4) | 1部 |
| (6) 診療実績(様式5-1～様式5-3) | 1部 |
| (7) 医療安全管理に係る実務経験(様式6-1) | 1部 |
| (8) セーフティマネージャー研修報告書(様式6-2) | 1部 |
| (9) 自己評価書 | 1部 |

- (10) 推薦者一覧 1部
(11) 推薦書(厳封)(様式7) 推薦者3名まで
(12) 上記(1)～(10)の電子ファイルを保存した媒体(USB) 1式
(13) 提出書類チェックリスト 1部 (チェックしたものを提出)
※上記(1)～(10)の電子ファイルを保存する際、(1)の補足資料および(3)はPDF、その他はExcelまたはWord。

3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類を一括して送付してください。
(2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
(3) 封書等の表に「親展」とし、「輸血・細胞プロセッシング科 教授応募書類」と朱書きしてください。
(4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限：令和3年11月4日(木) 17時 必着

5. 提出書類の送付先

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町 8番1号
東京女子医科大学
学長 丸 義朗

6. 選考方法

- (1) 一次選考：書類審査
(2) 二次選考：面接審査
(3) 三次選考：公開講演審査
(4) 最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局
学務課 有賀 淳也・高澤 位枝・後藤 由圭
med_senkou.bz@twmu.ac.jp

8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後、当方にて責任を持って処分いたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
(2) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認のためにご所属の施設にうかがう場合があります。

- (3) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなる場合があります。その際に必要な旅費・滞在費等については応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (4) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。
- (5) 本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

教授候補者の提出資料について(輸血・細胞プロセッシング科)

以下をご確認のうえ、必要書類をご提出願います。

1. 資格要件

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有すること
- (2) 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)の要件を満たすこと
- (3) 日本輸血細胞治療学会認定医の資格を有し、輸血・細胞プロセッシング科領域に関して深い造詣を備え、卓越した能力を有すること
- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的なこと
- (5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できること
- (6) 研究業績として、査読付自著論文(*)15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしA1編以上は含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A：英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B：英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人がfirst authorまたはequal contributorになっている論文、またはcorresponding authorとして明記されている論文を指す。

- (7) 医療安全実務について、申請時まで医療安全管理実務に関しAまたはBの要件を満たしていること。やむを得ない事情により、申請時までAまたはBの要件を満たしていない場合には、採用後2年以内にAまたはBの要件を満たすこと。なお、AまたはBの要件を一度満たせば、昇進時に再度求めるものではない。

(注) 1.上記A、Bを以下のように定義する。

A：学内各医療施設の医療安全推進部門において半日もしくは1日単位で計24日分以上実務者として勤務する。

B：学内各医療施設のセーフティマネージャーを1年以上務める。

2.採用において、前任地等でAまたはBと同等の経験をしたと認めた場合には、再度経験することを必要としない。

3.本学就任後2年以内にAまたはBの要件を満たす必要がある場合には、申請者は半年ごとに実施状況の進捗を文書で報告すること。

※本学のセーフティマネージャー研修を受けた者はセーフティマネージャー研修報告書を必ず提出すること。

2.提出書類等

- | | | |
|---------------------------------|-----|--|
| (1) 履歴書(様式1) | 1部 | ※補足資料も併せてご提出ください。 |
| (2) 業績目録(様式2-1、2-2) | 1部 | |
| (3) 主要自著論文10編の別刷 | 各1部 | |
| (4) 主要自著論文10編の説明(様式3) | 1部 | |
| (5) 研究資金等の取得状況(様式4) | 1部 | |
| (6) 診療実績(様式5-1～様式5-3) | 1部 | |
| (7) 医療安全管理に係る実務経験(様式6-1) | 1部 | |
| (8) セーフティマネージャー
研修報告書(様式6-2) | 1部 | |
| (9) 自己評価書 | 1部 | |
| (10) 推薦者一覧 | 1部 | |
| (11) 推薦書(様式7) | 各1部 | 3人まで |
| (12) 電子ファイル保存媒体(USB) | 1式 | ※上記(1)～(10)の電子ファイルを保存する。(1)の補足資料および(3)はPDF、その他はExcelまたはWord。 |
| (13) 提出チェックリスト | | チェックしたものを提出 |

【記入要領】

(1) 履歴書 (様式1) (写真貼付)

(様式1)に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、賞罰に分けて記載してください。相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください。
また補足資料として、履歴書に記載した、医師免許および博士(医学)の学位記の写し、日本輸血細胞治療学会認定医認定書の写し、卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピー(過去3年分)とそのPDFを添付してください。

(2) 業績目録 (様式2-1、2-2)

(様式2-1)(様式2-2)に従い、Excelファイル内の2つのシートに記載してください。

(3) 主要自著論文10編の別刷

主要な自著論文10編について、その別刷を各1部添付するとともに、PDFファイルを媒体に保存の上ご提出ください。(添付していただく別冊およびPDFファイルには「主要自著論文10編の説明」(様式3)に付した番号と同じ番号をつけてください。

- (4) **主要自著論文10編の説明書 (様式3)**
(様式3)に従い、各々の論文の独創的な点について200字以内でご説明ください。
- (5) **研究資金等の取得状況 (様式4)**
(様式4)に従い、直近10年間に取得した研究資金を記載してください。
- (6) **診療実績 (様式5-1～様式5-3)**
(様式5-1～様式5-3)に従い、輸血・細胞プロセッシング・外来・入院実績を記載してください。
- (7) **医療安全管理に係る実務経験 (様式6-1)**
様式6-1または、医療安全管理に係る実務経験がわかるものをご提出ください。
- (8) **セーフティマネージャー研修報告書 (様式6-2)**
本学でセーフティマネージャー研修を受けた場合には、医療安全推進部門の部門長の署名・捺印済みの研修報告書の写しをご提出ください。
- (9) **自己評価書**
教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑦の各々について自己評価を具体的に記載してください(A4版、書式自由、各1枚以内)。
①教育：講義、実習、少人数教育(テュートリアル等)の経験、教育に対する考えについて記載してください。
②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、研究に対する考えについて記載してください。
③診療：実績、専門領域、特殊技能、当該診療科における患者数の増加のための方策などについて具体的に記載してください。
④医療安全：セーフティマネージャー等の経験や医療安全講習会参加の状況を記載するとともに、安全な医療に関する考えを記載して下さい。
⑤組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、診療科の運営、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場など、種類を問いません。
⑥女性医療者の教育・育成：これまでの実績や、本学の建学の精神や理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成についての考えを記載してください。
⑦将来への抱負：ご自由にお書きください。
- (10) **推薦者一覧**
推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を作成してください。
(A4版、書式自由)

(11) 推薦書(様式7)

最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただきます。推薦者は3名までとし、その依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に留意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

3. 選考方法

- (1)一次選考：書類審査
- (2)二次選考：面接審査
- (3)三次選考：公開講演審査
- (4)最終選考：理事会審査

4. 備考

- (1) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (2) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後、当方にて責任を持って処分いたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (3) 選考過程において、追加資料等の提出を求めたり、状況確認のためにご所属の施設に伺う場合があります。
- (4) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなる場合があります。その際に必要な旅費・滞在費等については応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (5) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

5. 提出期限：令和3年11月4日(木) 必着

6. 提出書類の送付先

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町 8番1号
東京女子医科大学
学長 丸 義朗

※提出書類は「書留」等の記録の残る方法で郵送してください。

※郵便は「親展」とし、「輸血・細胞プロセッシング科 教授応募書類在中」と朱書きしてください。

7. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局 学務課 有賀 淳也・高澤 位枝・後藤 由圭
med_senkou.bz@twmu.ac.jp 以上